分館の整備計画・青少年指導の充実など

# 昭和五十一年度の社会教育計画きまる!!

四月を迎えて、横越村社会教育、公民館活動の本年度計画がきまりました。村議会で昭和五十一年度予算が決定しましたが、本年度は緊縮財政のために新規事業は困難な状態ではありますが、従来の活動に引続いて充実した活動を続けていきたいと思います。

1.分館の整備と活動の活発化をはかる。
2.指導体制を充実する。
3.総合社会教育の推進。
4.第二次中期計画の作成など。

を重点とし、村民の自発的学習を尊重し、生涯教育の理念に立って各年令層を対象にし、各分野にわたり施策を実施していく方針であります。

主な事業としては、

1.分館活動の充実をはかる
旧小学校を中心に行われてきた各地域の分館活動は、小学校の閉校にともなってその中心を分館に移行していく。

2.指導対制の充実のためにジュニアーリーダー、青年団体、青少年育成会、若年婦人層、婦人会などを対象に指導者講習を実施する。特に、分館を中心とした青少年指導者の育成につとめる。

3.青少年指導を強化し、
○地域の分館、育成会、PTAの活動を活発化し、子ども会の指導と新しい組織づくりにつとめる。
○青年団の育成につとめるとともに勤労青少年や、高校生を対象にした施策を行っていく。

4.婦人学級、家庭教育学級など今まで小学校単位で行ってきた学習活動を、分館を中心とした活動にするために万全の措置を講じていきたい。

5.おとしよりのための高令者大学を継続し、成人を対象にした事業を活発にしていきたい。俳句、菊花、楽焼、書道、囲碁将棋など。

6.文化財の保護、発掘、展示などの活動を充実し、旧横小の部屋を利用して展示室を作っていく。

7.公民館図書の充実と移動図書館の活発化をはかる。

8.スポーツ活動をさかんにするために各種の大会、事業を実施する。

など村民の方々の要望にこたえるための行事、事業を推進していく予定です。実施する事業は下記の通りですが、気楽に村民の方々のご参加をお願いしたいと思いますし、ご意見があったら遠慮なく公民館の方へお聞かせ頂きたいと思います。

なお、分館は、整備事業のため四月中一時閉鎖する予定ですので、予めご了承を頂きたいと存じます。なるべく早く開館したいと思います。

生命の創造、神秘性に驚く

## 二人のための〃新婚学級〃

村の年間婚姻届出数が六十組、一二〇人の若いカップルが将来に大きな希望をもって第二の人生をスタートしています。

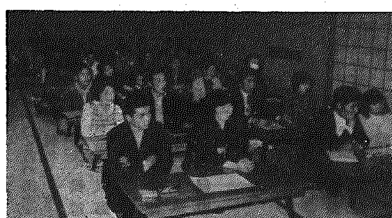
その新しい家庭づくりのため、村の公民館保健衛生課では、「新婚学級」の名称で、三月と八月の二回学級を開催しています。学級開催当時の十年前は母子保健推進員が「出席して下さい。お願いします」とまさに必死のカキ集め作戦でかけまわっていました。開始時刻の七時になっても出席者が三人、しかも男性の出席はなく、講師に申し訳ないやら、せつないやらで、推進員の方達も、新婚者（？）に早がわりして参加したものでした。

あれから十年「自分達の手で幸せな家庭を築く」と云う気持を素直に表現出来る条件が整ったのであろうか。一回の出席者が男女平均に二十五名を数えるようになった。母子保健推進員も悲壮な気持ではなく、若い人と一緒に勉強したいと、参加している。

去る三月十日夜、新発田保健所長、猪股先生をお招きし、「新しい生活設計と、生まれくる子供の幸せのために」と題しての講演と映写「生命創造」を見、生命の神秘性、素晴らしさに感動し、講演では、ユーモアの中にも、これから人間として、夫、妻、父、母としてどうあったらよいか。それぞれの心の中にしっかりとした考え方を持っていただけたものと思います。

閉会後、出席者にアンケートをとってみたら〃積極的に参加した〃というのが四十八％、母子保健推進員にすすめられてが二十六％でした。出席者がさらに多くなるよう期待しています。

◎次回の学級開催は、八月です。通知のあった方々はもちろんですが、婚約された皆様もすゝんで出席されるようお待ちしています。



# 沢海地区蔬菜作りに本腰

―国の地域農業経営育成
総合指導事業の指定を受ける―

沢海地区はこのほど全国一一〇カ所、新潟県では長岡市越原地区、小千谷市真人地区とともに地域農業経営育成、総合指導事業の国指定をうけた。

この事業は沢海地区農家と普及所が主体となり村、農協土改等の協力で推進されるもので、同地区では五ッの事業スローガンを掲げ地域農業のあり方、住みよい生活環境のあるべき姿等の諸計画をたてその実践を通して、中核農業経営者の育成、優れた後継者の育成、生産組織の充実、経営技術の向上、輪作体系の確立、生活改善など具体的に取り組み、地域の発展をはかるというもの。

同地区は、この事業を推進するために、去る三月二日横越村農協沢海支所で、沢海地区推進委員をはじめ、普及所、村、農協、土改横越工区などの参集を得て初の地区推進懇談会が開催された。

懇談会は、指定事業の経過説明、事業推進方策、推進幹事の選出のあと、推進正副委員長の選任が行われ、委員長に五十嵐孝哉氏が、副委員長に浅見良一氏が選ばれた。

なお、同地区の推進委員には、部落長、村会議員、農業委員、農協理事、土改理事、農家組合長、ソ菜・長芋・スイートコン・球根組合代表、農協婦人部、指導農家ら39名で構成されている。

沢海地区は、長芋、人参、ゴボウなど根菜類を基幹作物とした県内でも有数の蔬菜地帯であり、また、チューリップなどの花卉園芸地帯でもある。同地区では、今まで国県の補助事業を積極的に導入し生産基盤を確立してきた。最近では、畑作地域集団営農パイロット事業、高能率集団的生産組織育成事業などを導入している。

昭和50年度から五カ年間この経営総合指導事業の指定により同地区は、更に蔬菜地帯としての発展が注目されている。

### 事業スローガン

特産園芸団地育成による農家経営、生活の安定をはかるには、

①土地基盤整備が経営合理化の不可欠要素である。
②生産出荷体制の整備が特産園芸振興の要である。
③農業経営の改善は地域振興の方向と見とおしをふまえる必要がある。
④生活の合理化は生産との結びつきが大きい。
⑤地域農業振興は中核農家の果す役割が大きい。

## 青年も加わっての玩具づくり　少年教室

横越村公民館では、二月二十九日少年教室を開催した。

内容は、手づくり玩具をつくろうということで、男子は凧と竹馬つくり、女子は、リリアン手芸をやった。

また今回は、小杉青年会も加わり、少年時代を思い出しながら、子どもたちに手づくり玩具の作り方を指導した。

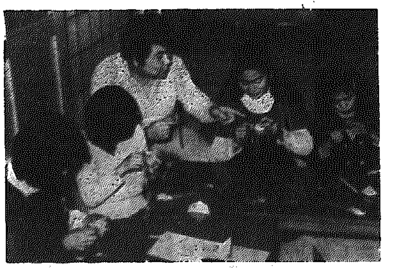
お昼には、子どもたちも青年たちも持参してきた弁当をひろげ、青年たちが作ったみそ汁を飲みながら、少年と青年の対話がなされていた。

午後からは、仕上げに入り出来た人から自分の作品で遊んでみた。凧は、ほとんどがうまく上がらず、自分なりに工夫していた。

竹馬ではこれもまたほとんどの少年たちが乗りこなすことが出来なかった。

最近は、既製品玩具で遊ぶ子どもたちがほとんどで、作る楽しさというものが、近年の少年たちには忘れられているようである。

今回で、五十年度の少年教室は修了したわけであり、最後に友情を誓い合って解散した。



指導する青年、教わる学級生

## 横越郵便局新局舎落成

＝四月十二日から業務開始＝

昨年来より村当局、および村民各位のご協力により工事を進めて来た郵便局も、いよいよ十二日に完成し、業務を開始することになりました。

本館は鉄筋平家建で、位置は横越中学校の国道側隣りです。

これからは、より皆さまとのつながりを深めたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。（横越郵便局）

## 郵便局からのお知らせ

○重度の身体障害者（一級、二級）で、同手帳をお持ちの満六才（昭和五十一年四月一日現在）以上の方に、身体障害者福祉強調運動にちなむ郵便葉書を四月二十日以降、お一人につき二十枚差し上げます。

○ご希望の方は、上記手帳をご持参の上、郵便局にお申し出下さい。なお本人に代って代理の方のお申出でも、また郵便によるお申出でも結構です。（郵便による場合は、ご本人の手帳番号、級別、住所又は居所及び氏名ご記入の上押印して下さい。）

○受付期間
四月一日から五月十日まで

○お申出の用紙は、郵便局、福祉事務所等に備えてあります。

○詳しくは郵便局におたずね下さい。

## 連青団長に　小出惣一郎君（小杉）

村連合青年団総会が三月二十一日開催され昭和五十年度の事業報告と決算報告があったあと、役員改選が行われた。

その結果団長に小出惣一郎君（小杉）、副団長には、長谷部雅文君（川根谷内）と、酒井恵美子さん（小杉）が、また会計には、田村泰一君（藤山）が選出された。

なお、五十一年度の事業計画は、新役員体制で立案されるが、課題となっている団員増と地域と密着した活動が期待できそうである。

### 水道工事店指定

51年4月1日から次の工事店が追加指定されました。

神田設備 ☎（横越上）二三六九番
大光設備 ☎（小杉下）二七九七番

### 第七回公募　俳句募集!!

公募句題
○春の宵、春宵
○草餅、草の餅、蓬餅
○蘆の角、蘆の芽、あしかび、角ぐむ蘆
（通じて六句）
〆切　四月二〇日
宛先　横越村公民館俳句係
選者　桑野峰松、国兼昇月、鈴木松嶺、磯部夙角、坪谷十九一、今井夫子、田中郁郎

### 少年教室　学級生募集!!

昭和五十年度に引きつづいて、五十一年度も「少年教室」を実施します。そこで次のとおり希望者を募集しますのでご応募下さい。

○参加申込み
四月三十日まで公民館へ
○応募資格
小学校五、六年生四十名
○内容
リーダーとしての心構え
集会等におけるゲームの持ち方、野外活動、奉仕活動、広報活動等の方法
村の史蹟、名勝をさぐる
昔と今のあそび研究、その他
○学習日
五月から毎月一回、土曜日（予定）

### 昭和五十一年度　おもな社会教育　公民館事業

○青少年教育関係
青少年指導者研修会　五月、七月
青年教室　通年
少年教室　通年
ジュニアーリーダー研修会　八月
少年球技大会　八月
勤労青少年のつどい　十二月
青年国内研修派遣　随時
（以下次号つづく）